山協ニュース

岩手県山岳協会
第１９８号(前号は、197 号でした。)
平成 29 年 1 月 29 日発行
long-distance.jp/sangaku/

希望郷いわて国体のレガシーを大事に

会長　高橋　時夫

皆様には、厳寒の中ではありますがご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。

昨年は、半世紀に一度体験するスポーツの国民的行事である希望郷いわて国体成功のため多大な、ご協力とご支援を賜り心から御礼を申し上げます。

さて、我が国の社会情勢の変化とともに登山界を取り巻く環境も変革の時代を迎えています。

国民の祝日「山の日」が制定され、多くの国民にとり登山が身近なものになり、国体山岳競技も都市型スポーツとしてスポーツクライミングとして小学生からチャレンジするスポーツとして親しまれ、4 年後に開催されます東京オリンピックの正式種目に決定しました。今年の 4 月 1 日から(公社)日本山岳協会も(公社)日本山岳・スポーツクライミング協会と改称します。

岩手県山岳協会は、加盟団体の協力で登山振興とスポーツクライミングの二つの柱のもと全国でも先駆的立ち位置で歩んでいます。

新たなる高みを目指すには、冬山のラッセル、岩壁登攀同様、体力と精神力とチームワーク、組織の団結が求められます。岩手県山岳協会は、加盟団体と一丸となり今年も国体の遺産を礎として、登山技術の普及、安全登山の啓発、八合目山小屋管理はもちろん、2020 五輪スポーツクライミング事前合宿招致、スピード競技施設整備等進むべき道には、多くの目標が見えています。また、県民と一緒に山の日の制定の意義を考える機会をさらに深めるなど新たな企画やジュニア世代のスポーツクライミング教室への対応等未来のための努力も続けていかなければなりません。先輩の皆様が汗して築いてこられた素晴らしい岩手県山岳協会の 70 有余年の歴史を大切に、新しい目標に向かって一歩一歩歩んでいきたいと思います。加盟団体の皆さん、役員の皆さん、そして関係各位のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

伊藤ふたばボルダリング

ジャパンカップ優勝の快挙

スポーツクライミング・ボルダリングの日本一を決める第 12 回ボルダリングジャパンカップが 1 月 28 日(土)と 29(日)の二日間、東京代々木国立第二体育館で開催され伊藤ふたば選手(松園中)が見事優勝の栄冠を勝ち得た。この大会には、我が国を代表して世界で活躍している選手達も揃い、本県からは、男子に山内　響、中島大智選手、女子には金澤千怜、立花里美の 5 選手がエントリした。男子の山内君は世界の転戦組と競ったが 15 位、中島選手は 21 位となった。

表彰台の伊藤ふたば選手(中央)

女子は、日本のクライミング界をリードしワールドカップの覇者でもある野口啓代(茨城)、野中生萌(東京)ら有力選手が勢ぞろいした。そんな中で、伊藤選手は、予選、準決勝を順当に勝ち進み、決勝ではただ一人 3 課題を見事に攻略し、これまでの野口選手の持っていた 16 歳の年少優勝記録を塗り替え、14 歳での最年少チャンピオンの座についた。

日頃の県運動公園登攀施設や日山協のヨーロッパ合宿等で着実に実力をつけ周囲を驚かせるような集中力での優勝である。まだ中学生アスリート、みんなで競技環境を整えてあげて焦らずじっくりと目標に向かって歩んでいけるよう応援をお願い

します。なお、女子の部、立花選手が 47 位、金澤選手が 57 位となった。二人とも今年は、復帰 2 年目、今年の愛媛国体での入賞を目指して頑張っています。

第 7 回全国高等学校選抜クライミング選手権大会「盛岡南」学校別対抗で優勝

山内　響君　第 3 位

12 月 24 日(土)と 25 日(日)の二日間、埼玉県加須市民体育館でクライミングの高校選抜全国大会が開催されました。大会には、個人戦男子 102 名、女子 82 名が、選手 2 名による学校対抗には男子 28 県、女子 22 県が出場。本県選手は、個人の部で山内　響君が 3 位、中島大智君が 9 位で学校対抗では断トツの優勝を収めました。国体に次ぐ全国優勝です。女子では、盛岡一高が 11 位となりました。そのほかの個人成績は、石嶋魁人君(盛南)が 33 位、佐々木建彰君(岩手)が 34 位、舘岡瑛君(盛南)が 46 位、田中里旺(盛一)さんが 39 位、越前前花絃(盛一)さんが 61 位となりました。日々の練習の厳しさを乗り越えて、上位を目指してほしいと思います。

初冬期講習会を三ツ石山で開催

平成 28 年度初冬季講習会が、三ツ石山・松川コースで.12/3（土）～4（日）(晴)に実施しました。

参加者は、諏訪木、駒込、中島、及川、土井、上戸、（北上山岳会）寺内（高体連）平賀（巌鷲山岳会）田沼、（ＲＣＣ）韮澤（翌檜山岳会）長畑、竹田、福田、松山、桑原（アルペンローズ）、講師：松山の 16 名が参加し、初冬の山中で、雪崩対策などの技術の研鑽に努めました。9：00 松川温泉に集合し、開会式。初冬季講習会の内容、注意点が伝えられる。

9：44 登山開始。登山口は膝あたりの積雪。各々輪かんを装備し、雪山を楽しむ。雲一つない青空に岩手山が映えていた。11：53 松川大橋分岐

途中途中に読図を行い、現在地を確認しながら進む。腰までの積雪のところもありラッセルに苦労した。

14：14 三ツ石山荘。小屋に荷物を置き、山荘の南側の雪原にて雪崩捜索訓練に移る。まず、アバランチトランシーバーチェックを行った。①リーダーが送信モード、メンバーが受信モード。次に②リーダーが受信モード、メンバーが送信モード。にし、それぞれの機器から電波が送信されているかを確認した。上記①→②の順だと発信モードへの切り替えミスを防げると中島氏から提言があった。

次に、見える位置にアバランチトランシーバーを置きアバランチトランシーバーから発せられる電波曲線の確認を行った。次に雪原に幅 20m～30mの面発生表層雪崩が発生したと想定し

- パーティーの安全確認・リーダーの決定
- アバランチトランシーバーを受信モードに・消防や警察に連絡
- アバランチトランシーバーの数字を大声で発し、埋没者の距離を各人で共有･人数が多ければ安全地帯、二次雪崩などの危険を確認する見張り役を配置。
- 近づいたらアバランチトランシーバーは雪面まで下げる
- プロービングは垂直に。ヒットしたら挿したままで抜かない。などの点を確認し受講者を 2 班に分け、捜索タイムを計測。15：35 終了し、小屋に入った。

12/4（日）

5：00 起床、6：33 小屋を出発し三ツ石山頂を目指す。大松倉山の奥から朝日が昇り美しい。7：27 三ツ石山山頂。山頂は冬山らしい風が吹いていた。

午後から天気が崩れる予定なので早めに下山。9：00

松川大橋分岐点。9：55 松川温泉下山

まとめ

今回の講習では、主にアバランチトランシーバー操作とプロービングを行った。その他雪崩リスクの察知、弱層テスト、掘り出しなど様々な要素が必要となってくる。山をよく観察し、雪崩地形を見極めて行動することが大事である。今後は書籍、講習会など積極的に学んでいきたい。　　報告　松山

希望郷いわて国体山岳競技報告会・役員慰労会兼第 60 回全国高等学校登山大会報告、並びにIFSC 世界ユース、アジアユース選手権大会報告会の開催)

平成28年11月20日(日)　午後2時30分から盛岡市　ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイングで、希望郷いわて国体山岳競技報告・役員慰労会兼第 60 回全国高等学校登山大会報告、並びにIFSC 世界ユース出場。アジアユース選手権大会報告会が開催されました。会場には、関係者120名が出席。冒頭高橋会長から希望郷いわて国体は、少年男子リード優勝、ボルダリング準優勝、成年男子リード6位で天皇杯6位入賞、そして大会運営についても、盛岡市実行委員会と一緒になり立派な国体成功に結び付けることができたと感謝の挨拶があった。今年は、インターハイでの盛一女子の三位、伊藤ふたば選手のアジア、世界ユースでの活躍等協会の歴史にまた新しい記録を刻むことがきたと挨拶。国体、インターハイ、ユース選手権大会で活躍した選手監督に功労表彰状が送られた。そして盛岡市長代理の細川市民部長の祝辞、柳村滝沢市長の乾杯で懇談に入った。和やかな雰囲気の中、さらなる飛躍を祈念して盛岡市村井国体局長の中締めの挨拶でお開きとなりました。

協会名誉会員・顧問懇談会の開催

平成28年度岩手県山岳協会第2回名誉会員・顧問会議を、12月10日（土）盛岡駅西口アイーナで開催。会議には、矢羽々昭夫、出堀宏明、矢羽々文一郎、斉藤善也の各名誉会員、古沢勝三、渡辺正蔵、国本旗男、高橋和夫、佐藤時雄、工藤洋二、松尾等、川村芳征、小泉昌弘、滝田章、波岡浩、各顧問が、執行部からは高橋時夫会長ほか10名が出席。高橋会長から、国体への支援に感謝するとともに、協会活動の現状について説明しました。日山協の名称は「日本山岳スポーツクライミング協会」と決定したこと。協会規約についてスポーツクライミングも取り込んだ内容を検討していること。全国的に加盟団体が減少傾向にあること。予算規模や活動が年々大きくなっており法人化等組織の抜本的な改革検討の時期に来ていることが話され、各部長から担当部の事業活動について説明。名誉会員、顧問からは、登山部門の強化充実、未組織登山者への対応、組織の活性化への期待と組織的な選手強化等への取り組みを望む意見が出されました。

平成29年度協会第1回評議員会開催

平成29年度第1回評議員会は、1月25日（水）午後7時00分から盛岡市の県体協会議室で開催されました。会議には、佐藤安美（和賀）、村上良則（都南）、浅沼昭男（大迫）、小笠原正雄（石鳥谷）、大坊孝男（玉山）の各氏、協会からは、高橋会長、岩澤、吉田、武田の各副会長、小山理事長、遠藤事務局長、佐藤指導部長、植田登山普及部長、が出席。冒頭、高橋会長から、評議員会の充実と変革期にある登山界の現状と協会の対応方針等について挨拶し、評議員の皆さんから、活発な意見助言を頂きました。

・東京五輪事前キャンプ地指定に向けての対応をしっかりして欲しい。・日山協の名称変更に伴う協会はどうか。現在は、名称変更は考えていない。・財政的基盤は大丈夫か。・山の日制定記念は継続しやってほしい。・岩手山火山対策としてソーラーを使った警報システムの検討が必要。・スピード競技施設の整備を進めている。加盟団体の活性化と各市町村山岳団体への新加盟への働きかけが重要となっている。等

伊藤ふたば達増拓也知事表敬

12 月 9 日(金)にＩＦＳＣ世界ユース選手権大会(ユースＢ)で準優勝した伊藤ふたば選手が、高橋協会会長、佐藤松園中学校長、畠山強化部長と、達増知事を表敬し、ＩＦＳＣ世界ユース選手権準優勝とアジアユースリード、ボルダリング優勝報告をしました。伊藤選手から「多くの県民の応援により結果を出すことができました。これからも東京オリンピックを目標に頑張っていきます。」と報告。達増知事から、岩手の山岳競技は昔から強く、これまで立派な成績を収めていることへの評価と、「応援していますので目標に向かって頑張ってください。」との励ましの言葉を頂きました。

岩手県にスポーツクライミング「スピード競技」施設整備を要望

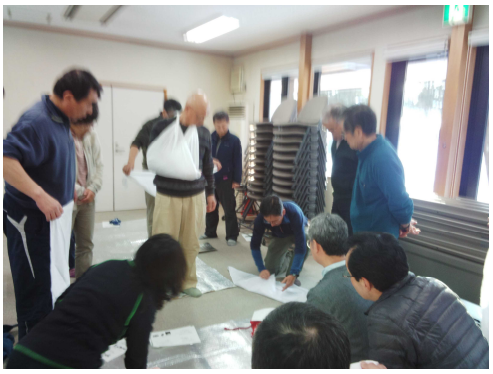
2020東京オリンピックの正式種目として決定しているスポーツクライミング種目のスピード競技施設の整備を達増岩手県知事に要望しました。東京五輪では、

リード、ボルダリング、スピードの三種目の総合で金メダルが争われます。現在ボルダリング、リード施設が整っていることから協会では、盛岡広域圏のスポーツコミッションとして五輪事前合宿招致と選手強化のためにスピード施設を整備してほしいと要望していました。今回、盛岡広域8市町の首長さんの理解を頂き整備に関する要望を行いました。

1月26日の要望は、盛岡市の藤尾副市長と高橋協会長がそれぞれの要望書を持って千葉副知事にお願いをしました。千葉副知事からも前向きなコメントと協会のスポーツクライミングにかける情熱に対する励ましと、全国に先駆けてのスポーツクライミングの拠点づくりへの支援のお言葉をいただくことができました。管内市町のご理解も頂き、着実に前進しています。

指導員会指導員研修会開催

岩手県山岳協会指導員会(武田勝栄会長)主催による本年度の指導員研修会が、1月21日(土)盛岡市玉山区を会場に25名の指導員が参加して開催されました。午前の研修会は、雪の姫神山(1123.8m)で実践講習。午後は、会場をユートランド姫神に移してインドア研修。



今年も国際山岳医で協会指導部理事の中島隆之先生を講師に、骨折や外傷性疾患の応急処置の仕方について学びました。参加者が4班に分かれ三角巾を使っての負傷個所の処置、ストック等の補助具を使った固定方法について体験しながら学びました。分かっているようでいざとなると戸惑ってしまう応急措置。昨年の低体温症についての研修に引き続き大変有意義な研修となりました。夜は、恒例の交流会で、たくさんの差し入れのお酒も、就寝時間には、どこへ消えたか空瓶だけが転がっていました。楽しい指導員会でした。

日山協山岳保険に入ろう

日山協の山岳保険は、年度中途でも加入できます。

多くの山岳保険がありますが、日山協の山岳保険は、登山ばかりではなく、日常生活でのケガも対象になります。また、ボルダリングやリード壁等でのロープを使用したクライミングもピクニックコースで比較的負担の少ない掛金での加入ができる等の利点もあります。万一の賠償責任保険も加味されています。更に、加入者数によって山岳協会への還付金等もあり、万一に備えての加入をお奨めします。**年の中途での加入もできます。**

詳しい内容を知りたい方及び加入希望の方は、県山岳協会事務局へお問い合わせ下さい。

県山協の動き （山協ニュース197号以降）

11/12(土)　国体少年男子優勝記念スポーツクライミング大会県営運動公園　165 名
11/20(日)　インターハイ・国体報告会・国体役員慰労会　盛岡ニューウイング
11/26(土)-27(日)　東北地区岳連（協会）ブロック会議　秋田
12/2(金)　平成28年度県体協功労者・栄光賞表彰式　サンセール盛岡
12／3(土)-4(/日)　初冬期講習会・研修会三ツ石山
12/6(火)　希望郷いわて国体・大会感謝の集い　ホテルメトロポリタンニューウイング
12/9(金)　伊藤ふたば岩手県知事表敬・報告　岩手県庁会長、畠山、伊藤ふたば
12/10(土)　第7回部長会 アイーナ
12/10(土)　名誉会員・顧問懇談会アイーナ
12/18(日)　第14回クライミングビギナーズコンペ　大迫体育館 33 名
12/24(土)-25(日)　第7回全国高等学校選抜クライミング選手権大会 埼玉県加須市
1/11(水)　県山協会計監査)・1/16(水)　第1回部長会
1/18(水)　第1回常任理事会・1/21(土)　指導員研修会　・1/25(水)　第1回評議員会

今後の予定

2/4(土)　平成29年度岩手県山岳協会定期総会
2/10(金)-12(日)東北高体連登山専門部研修会
2/11(土)-12(日)冬山講習会(岩手山　相ノ沢)
2/12(日)　日山協全国理事長会議
2/16(木)　第３回部長会